

『18歳を市民に』



高生研

会期・会場

8月6日(土) 和光大学

8月7日(日)・8日(月)

和光高等学校

第54回全国大会 2016夏 in 東京

大会テーマ

自分のことばで語るためにー18歳を市民にー

日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
6日 和光大学	直前準備		全国フォーラム 入門講座Ⅰ 11~12:15	受付	開会行事		全体会 13:00~17:00 (13:30~基調討論)				交流会 17:30~		
7日 和光高校	受付	一般分科会 9:00~12:30		昼食 12:30~13:30		一般分科会 13:30~17:00		夕食休憩		総会 17:40~19:40			
8日 和光高校	受付	問題別分科会 9:00~12:00	別れの集い	片付け 12:00~12:30									

8月6日(土) 和光大学 J棟・H棟

全体会 開会行事 13:00 ~ 13:30

基調討論 13:30 ~ 17:00

封じ込められたことばを解き放つ

～小さな私が大きな世界と語るために～

基調発題：伊藤香織（沖縄） 指定討論：酒田孝（青森）

生徒が自らの願いに気づき、自分のことばを手に入れていく。そして自分の生き方を決める。文化祭や授業、学校への公的申し立て等を通して、封じ込められていたことばが解き放たれ、語りが始まる。自らの手で語ることばを手にした辺野古のオバアたちの活動を目標に据えて。

11:00 ~ 12:15

入門講座Ⅰ 「さあ文化祭！原案づくりにこだわるクラス討議のつくり方」

アンケートをとって、一番多かったものに？ これでクラスは動くのか。 詫磨秀雄（大阪）

17:30 ~ 18:45

入門講座Ⅱ 「班づくり～生徒同士のかかわりを生む仕組みとして～」

HRで班をつくらう。班で日直や清掃をやってみよう。その意義とは？

静岡高生研の「技と心」を紹介。

塚本徹（静岡）

主催：全国高校生活指導研究協議会

A+B <午前午後通し>

1. 教育相談 「相談室からみえること」 大木聡子(静岡)

「相談室は、受験体制について行けず振り落とされる生徒を受け止める場所」と今まで思っていた。しかし、大量の宿題がこなせずに学校への足が遠く生徒、不登校の生徒に変わることを求めてプレッシャーをかける教員。相談室から、学校体制の問題や教員の指導の行き過ぎが見えてくる。相談室・特別支援の立場から「進学校の当たり前」を少しずつ変えていきたい。

A <午前のみ>

2. 生徒会 「2/3の生徒総会」 安藤誠也(三重)

生徒会則に位置づけられていない総会を、どう生徒会執行部の手で作り上げることができるのか。ささやかにさりとしてきたかに、校内への情報発信に気を配って執行部と歩んできた2年間の実践。生徒会は果たして生徒総会をやる意義を感じたのだろうか。自治的参加へ指導する試みを提起する。

3. HR 『『会話』から『対話』を求めて~私のHR作り~』 中村由利(静岡)

HRの中で、生徒同士の「会話」から始まってそれが広がり、「対話」ができるような関係に深まっていくとよいと考えた。偏愛マップを使っての自己紹介から、新聞リレー、作文リレー、進路別集団面接、そして年度途中からの生徒による席替え、朝のHRでの生徒による話など日常生活の取り組みの中に、生徒同士の関わりの機会を設けた実践報告。

4. 授業「平和への意志を育てる~歴史教育と政治教育とに通底するもの~」橋本暁(東京)

フィールドワークを中心にした歴史の授業の取り組み。選択授業であるがゆえに、20人前後という恵まれた人数で十五年戦争について生徒と学びを積み上げてきた。1年間の授業の中で、生徒の歴史認識はどう変わり何を掴んだのか。

B <午後のみ>

5. 生徒会 「生徒会、県を動かし、水飲み場を増設する！」 佐々木忠夫(宮城)

生徒会執行部は1年中忙しい。だが、一般生徒との間には大きな溝があり、生徒総会は形式的なものに。文化祭や生徒会新聞の改革を通して、溝を埋めて行く。そして、「水飲み場がほしい」という身近な要求を、生徒全体の課題に練り上げて行く。それが校長・教職員を後押しし、県に予算要求。結果は年度途中であるにもかかわらず、県は水飲み場の予算化した。」

6. HR 「1年生と目指した公的な空間のあるクラスづくり」 竹内てる(東京)

ノリと流れで決まったクラスレク、立候補の出ない文化祭企画代表、権力争いで機能しなくなった四役会・・・公的な話し合いができるHRへと働きかけていくことで、個が尊重される空間の保障を目指した1年生とのクラスづくり。合宿、文化祭での実践報告から、公的な空間をつくる担任の関わりについて考えたい。

7. HR 「HRに居場所がない生徒たちにどうかかわるか」 太田常一(沖縄)

転勤したばかりの学校でいきなり2年生の担任。1年次に「生活態度が悪い生徒はどんどん切られて」「お利口」な学年となったという。そこで出会った、頭髪検査に頻繁にひっかかり「学校をやめたい」というY子。虚言癖がありHR内で浮いていくN子、4月当初、登校しても机につぶして口もきかないU。こうした生徒たちと担任はどのようにかかわろうとしたか。

◎問題別分科会 8月8日(月) 和光高等学校 9:00~12:00

1. 18歳選挙権から学力の市民化を問う～「学力幻想」を超えて～

小玉重夫(東京大学)

私たちはなぜ学力幻想に囚われるのか? 18歳選挙権が迫るなか、学力幻想を超えた、学力の市民化がますます要請されている。学力の市民化とは何か? 真理のエージェントからコーディネーターとしての教師へ、遂行中断性による対話空間への組み替えなど、小玉氏の提起をもとに考えたい。

2. 実践分析をより確かなものとするために

久田晴生(愛知・大同大学)

高生研大会には、実践をみんなで徹底的に討論・分析することによって報告者・参加者がより深く学んでいくという特長があるが、その分析の根拠は?と問われると意外に危うい。どんなことを「分析の根拠」にしたらよいのだろうか。それを共有していくにはどうしたらよいのだろうか。

3. 「みんなの学校」から学ぶこと

上森さくら(島根大学) 今関和子(東京) 絹村俊明(静岡)

「大阪市立大空小学校」。ここは、特別な支援が必要な子どもたちを含めて、子どもや教職員、保護者や地域住民、みんなが学び合い、みんなで作る学校です。ドキュメンタリー・「みんなの学校」を視聴しながら、私たちの目指す社会、それに連なる学校づくり、教育改革を問い合います。

4. この国の人々に私は何を問いたいのか

玉城愛(SEALDs RYUKYU)、他

私はこの国の主権者として、「人間であること」に誇りを持って生き抜きたい。辺野古への新基地建設問題をめぐって私達に垣間見えたこの国の人々の真情を知りたい。そして参加者と論じ、人々が共に生きるに値する価値と作法のひとつを沖縄から青年として提起する。

5. ホンマにできるの? 今までもやってる!? 主権者教育

～生徒が主権者に育つ授業・生活指導の道筋を探る～

首藤広道・佐藤功・杉浦真理(総務省文科省「副教材」執筆者)

ゲスト: 原田謙介(NPO 法人 YouthCreate 代表理事)

にわかに広がる「有権者として求められる力」を育てる教育。そこにはどんな意義と課題があるのでしょうか。高校生が政治的判断力を獲得し、主権者に育つ授業や生活指導とはどんなものなのでしょうか。原田謙介さん(学生団体 i-vote 創設者)をゲストに、事例を紹介しながら実践的に考えます。

◎交流会 8月6日(土) 17:30~ 和光大学他(開始終了時間は企画によって異なります)

◎基調を深める(17:30~19:00) ◎若者と語ろう・これからの教育(17:30~19:00)

◎夕食交流会(20:00~イタリアンダイニングルナ/町田駅近く) .etc

交流会は、参加者が自らの興味関心によりつくるものです。現時点で、上記の3つが確定しています。今後、企画申し込みを受け付けます。ご注目下さい。

参加案内

参加費 全日程参加 5,000 円、2 日参加 4,000 円、1 日参加 2,000 円
学生 1,000 円（ただし大会実行委員として参加した場合は無料）

申込方法 「高生研 2016 東京大会応援ブログー 18 歳を市民にー」の大会参加申込フォームにて
申し込んで下さい。 <http://kouseiken.jp/Taikai/> からアクセスできます。
Eメールでの直接申し込みも可能。Eメールアドレス：kouseikentaikai16@gmail.com
※出来る限り事前に申し込んでください。

保 育 3 歳以上で保育を希望する方は、6 月 30 日までに参加申込フォームに記入して下さい。

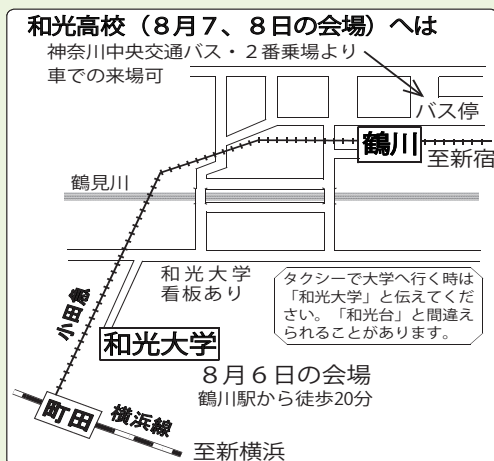
宿 泊 宿舎は各自でお取りください。
なお、大会実行委員会で 30 部屋仮押さえしています。
ホテル町田ビル（小田急線・横浜線町田駅徒歩 2 分／会場がある鶴川駅まで町田駅から 2 駅）
料金：シングル 5800 円＋朝食 1000 円／ツイン 9450 円＋朝食 1000 円
予約の必要な方は、参加申込フォームにご記入下さい。実行委員会でホテルに名簿提出となります。
申込後に宿泊希望が生じた場合には、メール（kouseikentaikai16@gmail.com）でご連絡下さい。
（シングル主体のホテルなので、ツインは 3 部屋だけしか仮押さえしていません。喫煙の区分はご要望に添えない場合もあります。）
最終締め切りは 7 月 20 日です。それ以前に予約で埋まれば終了します。希望される方は早めにご予約下さい。（繁忙期なので増やすことは不可能と思われる。）

<高生研大会会場周辺アクセス>



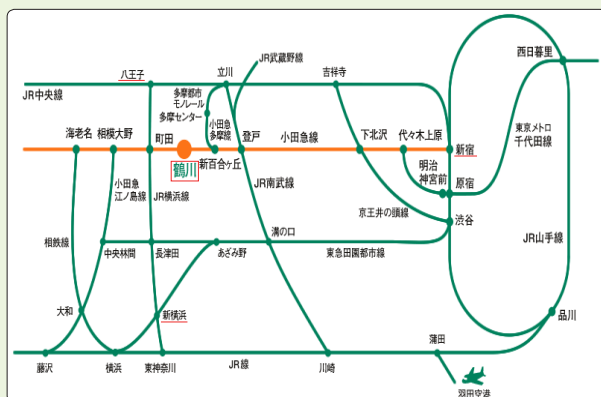
〒195-8585
東京都町田市金井町 2160

小田急鶴川駅から徒歩 20 分（バスなし）。
※車での来場は不可です。



〒195-0051
東京都町田市真光寺町 1291

小田急鶴川駅から神奈川中央交通バス・2番乗場「鶴川団地」行（1時間に6～8本あり）
鶴川団地終点（10分・200円）、下車すぐ。
車での来場可。



<高生研の案内・問い合わせはこちら>

○高生研ホームページ <http://kouseiken.jp>

○高生研の紹介・大会案内を掲載東京大会応援ブログ

「高生研 2016 東京大会応援ブログー 18 歳を市民にー」 <http://kouseiken.jp/Taikai/>

問い合わせ先

大会実行委員長 久田晴生（大同大学） e-mail：hello.hisada@nifty.com

〒455-0075 名古屋市港区正徳町 4-62

